

越谷市人口ビジョン（人口の将来展望）の概要

（１）人口の現状

○人口の動向

本市の人口は、現状のまま推移すると2021年（平成33年）の340,150人をピークに、その後減少すると想定されています。（第4次越谷市総合振興計画後期基本計画上の推計）

○合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率は、平成25年には1.29（埼玉県保健統計）でした。平成16年以降は概ね上昇傾向にあるものの、県平均1.33、国平均1.43より低く推移しています。

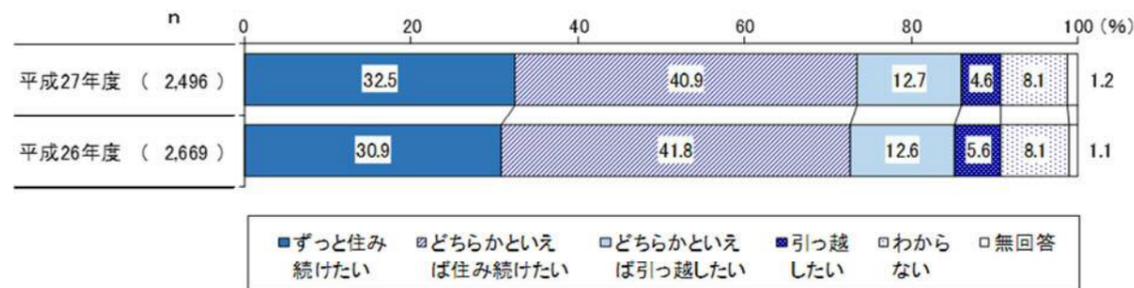
■合計特殊出生率の推移（類似及び周辺自治体比較）

年	合計特殊出生率											
	越谷市	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	所沢市	春日部市	草加市	吉川市	松伏町	足立区	埼玉県
平成8年(1996年)	1.38	-	1.37	1.46	1.36	1.37	1.34	1.39	1.47	1.37	1.29	1.37
平成9年(1997年)	1.30	-	1.31	1.37	1.32	1.32	1.31	1.37	1.47	1.28	1.24	1.31
平成10年(1998年)	1.32	-	1.29	1.33	1.28	1.28	1.31	1.36	1.40	1.33	1.23	1.28
平成11年(1999年)	1.26	-	1.21	1.28	1.26	1.21	1.18	1.33	1.30	1.14	1.22	1.23
平成12年(2000年)	1.24	-	1.20	1.40	1.37	1.32	1.27	1.34	1.33	1.22	1.26	1.30
平成13年(2001年)	1.22	-	1.20	1.31	1.22	1.17	1.22	1.31	1.34	1.25	1.23	1.24
平成14年(2002年)	1.19	-	1.19	1.24	1.24	1.17	1.16	1.29	1.19	1.16	1.26	1.23
平成15年(2003年)	1.22	-	1.17	1.24	1.20	1.16	1.13	1.30	1.24	1.16	1.22	1.21
平成16年(2004年)	1.14	1.22	1.12	1.20	1.21	1.14	1.14	1.23	1.22	1.13	1.22	1.20
平成17年(2005年)	1.19	1.22	1.19	1.29	1.32	1.21	1.17	1.30	1.24	1.27	1.17	1.22
平成18年(2006年)	1.16	1.20	1.15	1.15	1.25	1.17	1.08	1.24	1.30	1.00	1.22	1.24
平成19年(2007年)	1.21	1.20	1.17	1.25	1.22	1.15	1.09	1.22	1.37	1.20	1.23	1.26
平成20年(2008年)	1.19	1.24	1.18	1.21	1.25	1.22	1.16	1.25	1.47	1.16	1.31	1.28
平成21年(2009年)	1.23	1.24	1.23	1.22	1.24	1.18	1.12	1.22	1.36	1.10	1.34	1.28
平成22年(2010年)	1.32	1.38	1.38	1.32	1.43	1.26	1.26	1.37	1.33	1.16	1.33	1.32
平成23年(2011年)	1.22	1.26	1.29	1.20	1.21	1.19	1.21	1.24	1.29	1.16	1.34	1.28
平成24年(2012年)	1.28	1.25	1.30	1.19	1.24	1.18	1.14	1.25	1.27	1.10	1.37	1.29
平成25年(2013年)	1.29	1.31	1.39	1.22	1.28	1.21	1.17	1.32	1.49	1.05	1.36	1.33

（２）市民の意識（居住意向）

越谷市市政世論調査（平成27年11月）の結果から、越谷市民の定住意向（「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は7割強（73.4%）となっています。

■越谷市民の居住意向



（３）将来の人口ビジョン

国は、2060年に8,674万人と予測される（国立社会保障・人口問題研究所の算出）総人口を1億人程度に維持（予測人口の16%弱のアップ）することを目標にしています。これをそのまま本市にあてはめると、2060年に約29万1千人程度の人口を確保することとなります。人口減少は少子高齢化の到来でもあり、地域社会に様々な影響をおよぼすため、長期的な人口の動向を把握し、必要な対策に活かしていくことから、本市においては以下3パターンで今後50年先を見通す人口推計を行いました。

○3つのパターンを想定した人口推計

「パターン1」は、現状のまま推移した場合です（第4次越谷市総合振興計画後期基本計画の推計を延長）。この場合、平成72年度には、260,589人で22.1%減となります。

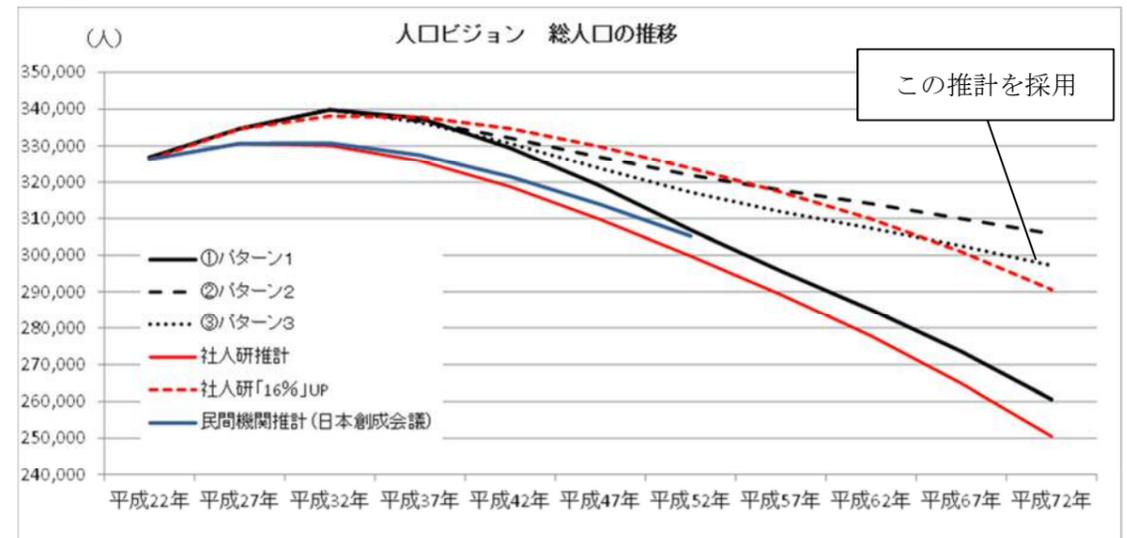
「パターン2」は、若い世代の希望が実現すると出生率（理想とする子ども数を得るための出生率）は、国では1.8程度、本市では1.78となります（算定式は国と同じ方法）。これを国と同様、平成42年（2030年）に達成し、そのまま上昇を重ねて平成52年（2040年）には人口置換水準の2.07に達すると想定して推計します。この場合、平成72年度には、305,818人で8.6%減となります。

「パターン3」は、本市の合計特殊出生率は現状で国との差が0.14ポイントほどあり、この差を配慮して、平成42年（2030年）の出生率は約1.6、平成52年（2040年）は約1.9、平成62年（2050年）は国と同様の2.07に達すると想定して推計します。この場合、平成72年度には、297,231人で11.2%減となります。

○推計の結果と人口の将来展望（人口ビジョン）

以上の人口推計から、より現実性の高い「パターン3」を採用

■パターン別人口



目標：平成72年（2060年）に約29万7千人の人口を維持することを目指します。

越谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

総合戦略策定の趣旨と考え方

- 国は、加速度的に進む少子高齢化・人口減少に対し、官民一体となった取り組みの必要性から、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。
- 同法に基づき、国は平成26年12月に「長期ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、2060年には1億人程度に人口を維持し、成長力を確保するとしています。
- 地方版総合戦略では、「地方の安定した雇用の創出」「地方への新しい人の流れを創る」「若い世代の結婚・子育て希望の実現」「時代に合った地域づくり・地域連携」を目標に、地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会の創生を目指すこととなります。
- まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく5か年戦略（計画期間：平成27年度～31年度）として、越谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。
- 総合戦略は、越谷市人口ビジョンの内容を踏まえ、本市の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、予算的裏付けのある具体的な施策を示す計画とします。また、戦略的に今後検討していく施策についても記述しています。

総合戦略に定める内容

- 基本目標
（国及び県の総合戦略の4つの政策分野を勘案）
- 講ずべき施策に関する基本的方向
- 具体的な施策（設定した4つの政策分野ごと）
- 数値目標・重要業績評価指標（KPI）の設定

(1) 総合戦略の基本的課題

① 地域産業の発展と職住近接のまちづくり

人口減少時代にあって、地域が持続的に発展し続けるために、地域産業を活性化し、地域に雇用と経済価値をもたらすとともに、職住近接の環境を形成していくことが求められています。

② 地域資源を活かした、新たな都市型観光を進めるまちづくり

豊かな水辺空間や田園風景、歴史・伝統・文化・エンターテインメントなどの地域資源に光をあて、本市の魅力を活かした新たな都市型観光を進めていくことが求められています。

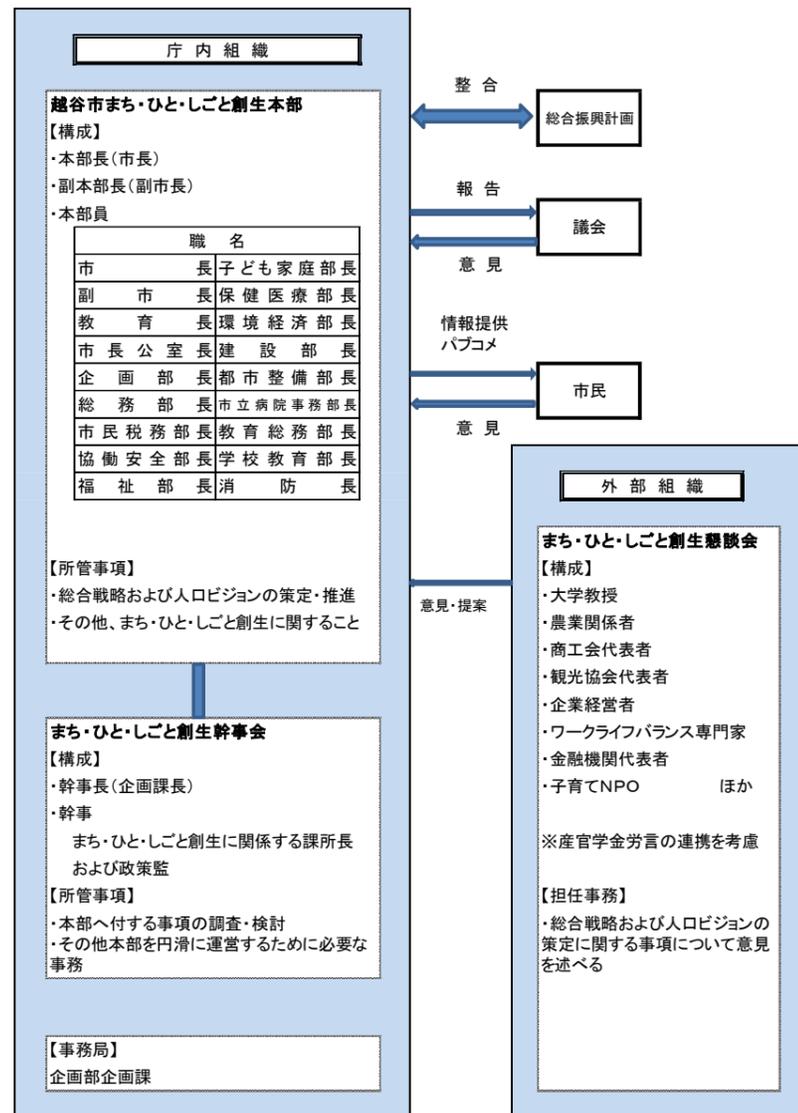
③ 若者が結婚し、子育てしやすいまちづくり

本市では結婚した家庭の多くが子どもを産んでいることから、結婚しやすいような環境や、子どもを育てやすい環境を整えていくことが求められています。

④ 安全で安心に、豊かさを実感できるまちづくり

高齢化の進展、自然災害等の増加といった状況から、地域コミュニティを中心として、より一層安心・安全・快適に住み続けられる環境づくりが求められています。

■ 越谷市総合戦略および人口ビジョン策定体制



(2) 越谷市総合戦略における基本目標と施策



基本目標1

- 施策①：地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化を図る（具体的な事業数：6）
- 施策②：持続的に農業が行われる環境をつくる（具体的な事業数：4）
- 施策③：雇用対策の充実を図る（具体的な事業数：3）

安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた、職住近接のまちをつくる

主な数値目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
市内事業所従業者数	116,916人	120,000人



基本目標2

- 施策①：にぎわいと活力を創出する観光の振興を図る（具体的な事業数：2）
- 施策②：“こしがや”の情報を積極的に発信する（具体的な事業数：3）

越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

主な数値目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
越谷市に対して愛着を感じている市民の割合	—	50%以上



基本目標3

- 施策①：地域で子育てを支援する（具体的な事業数：3）
- 施策②：子どもを育てやすい環境を整える（具体的な事業数：5）
- 施策③：生きる力を育む学校教育を進める（具体的な事業数：4）
- 施策④：仕事と生活の調和を推進する（具体的な事業数：2）

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

主な数値目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.33	1.50



基本目標4

- 施策①：公共施設等の適正な管理を図る（具体的な事業数：3）
- 施策②：地域医療体制の充実及び高齢者を地域で支えあう仕組みを整備する（具体的な事業数：5）
- 施策③：防災力・防犯力を強化する（具体的な事業数：4）
- 施策④：雨水災害の対策を進める（具体的な事業数：5）

安全、安心、快適に住める地域をつくる

主な数値目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
今後も住み続けたいと思う市民の割合	72.6%	75.2%